

☆公益財団法人ロータリー米山記念奨学会について

年間の奨学生採用数は868人、事業費は14億円4千万円（2018-19年度決算）と、国内では民間最大の奨学事業となっています。これまでに支援してきた奨学生数は、累計で21,023人（2019年7月現在）。その出身国は、世界129の国と地域に及びます。

米山奨学金には、奨学金による経済的な支援だけでなく、ロータリークラブ独自の世話クラブとカウンセラー制度による心の通った支援があります。

世話クラブとは？ 日本には2,252（2019年8月末現在）のロータリークラブがあります。そのうち1つのクラブが、1人の奨学生の「世話クラブ」となります。米山奨学生は世話クラブの例会に月に一度出席し、ロータリー会員と積極的に交流して国際交流・相互理解を深めるとともに、ロータリーの奉仕の心を学びます。

カウンセラー制度 奨学生1人に対し、世話クラブのロータリアンの中から1人がカウンセラーとなります。カウンセラーは、奨学生の個人的ケアにあたるアドバイザーです。様々な職業、世代で構成されるロータリークラブでの交流は、奨学生が日本文化に接し、将来や奉仕について考える機会となります。米山奨学生とロータリアンの交流は、相互理解のみならず、双方にとって財産となるものです。

シンボルマーク



重なり合うハートは「ロータリアン」と「奨学生」を表しています。外国人留学生の支援・交流を通じ、国を超えた絆や信頼関係を築き、やがて、一人ひとりの胸に世界平和を願う“心”を育てるといふ、事業創設の願いが込められています。手は、そうした“心”を生み出すと同時に、当事業がロータリアンの手で支えられていることを示しています。ロータリー米山記念奨学会は、勉学、研究を志して日本に在留している外国人留学生に対し、日本全国のロータリアン（ロータリークラブ会員）の寄付金を財源として、奨学金を支給し支援する民間の奨学団体です。<米山奨学会 HP より>

■沖縄分区 IM 2019-10-22(火)14:00点鐘 於：アトールエメラルド宮古島 HC：宮古島



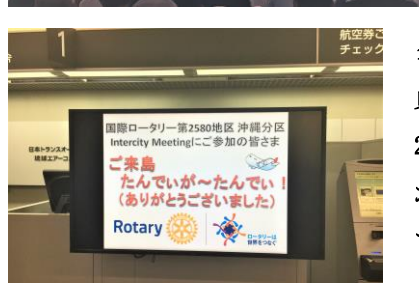
上原義信会長  
クラブ活動報告



次年度ガバナ―補佐挨拶  
安里政晃 AG E



創立六十周年記念映像も放映されました。



クラブ会員出席者28名お疲れ様でした。

週報

ロータリーは世界をつなぐ

Rotary connects the world

マーク・ダニエル・マローニー  
2019-20年度 国際ロータリー会長



第2742号

2019年  
10月15日  
2019年  
OCT

Rotary  
那覇ロータリークラブ

第2866回 例会報告  
例会記録・予定

出席報告

会 員 数	83名
出 席 計 算 会 員	83名
出 席	30名
欠 席	53名
出 席 率	36.14%

欠席会員名 新本、安里（政）、中村、碓井、比嘉、梶原、吉村、新垣（豊）、与儀、平良（修）、杉本、三反園、保田盛、喜屋武、許田、國吉、伊志嶺、具志堅、今福、渡辺、下石、新垣（安）、朱、宜保、吉岡、井手上、北田、上原（進）、与那覇、上原（修）、真栄城、新垣（竜）、菊永、長嶺（国）、畔上、東川平（信）、藤井、米須、赤嶺、桑野、桑原、石垣、今西、下地、松元、相良、義元、砂川、三上、中野、東川平（靖）、小川、喜納。  
MAKE-UP 新本<G 公式訪問：東京新都心、東京麹町・東京紀尾井町合同、D2500地区大会>桑原<那覇東>安里（政）<東京北、次年度地区連絡会、RLIパートII>金城<地区社会奉仕委員会 TV>  
ゲストスピーカー 米山奨学生 ジャスミン、フランシス ミルマン さん

☆プログラム

10月29日（火）夜間例会 18:30 点鐘  
於：ロワジールホテル那覇3階「龍宮」  
11月5日（火）  
「沖縄の1次産業と観光産業の課題解決へ向けたICT活用」  
沖縄セルラーアグリ&マルシェ 國吉 博樹 氏  
11月12日（火）  
「イニシエーションスピーチ」  
第一生命保険（株）那覇支社 支社長  
本多 光一郎 会員  
11月19日（火）  
「11月・ロータリー財団月間卓話 他」  
RID2580 ロータリー財団委員会 安里 政晃 委員

- 理事会 11/5（火）11:30～  
パシフィックホテル沖縄2階「マノア」
- 指名委員会 11/19（火）例会後 13:35～  
パシフィックホテル沖縄2階「マノア」

那覇ロータリークラブ

事務局 那覇市西3-6-1（パシフィックホテル沖縄1階）TEL 868-1224 FAX 861-4918  
E-mail アドレス naha-rc@ml.cosmos.ne.jp HP アドレス：http://naha-rc.org/  
会長 上原 義信 副会長/クラブ奉仕委員長/会長エレクト 當間 卓 副会長/クラブカウンセラー 安里 政晃  
幹事 金城 智誉 クラブ会報委員長 松元 剛 副委員長 傍田 賢治 委員 真栄城 嘉史 与那覇 正明

■ニコニコ BOX (\*^^)



十月のお誕生日  
おめでとうございます

安里 繁信 会員・津嘉山 伸 会員・與座 嘉博 会員・  
名嘉 義明 会員・堀川 剛 会員  
誕生祝いありがとうございました。

■幹事報告 金城 智 幹事

**地区バギオ基金支援委員会より卓話依頼のお願い**  
当委員会では、バギオ基金について各クラブでの卓話にて紹介いたしたく招致してと望んでいるところです。バギオ基金は国際奉仕事業のひとつとして、ロータリー財団補助金奨学事業、ロータリー米山記念奨学事業と同様に大切な育英事業でございます。上記二つの事業とともに、バギオ基金の大切さ並びに必然性をご理解賜われることができればと望んでいるところです。貴クラブからの卓話依頼を心よりお願い申し上げます。

〔依頼先〕地区バギオ基金支援委員長 藤井俊一  
E-mail: [sfujii@sequel.j](mailto:sfujii@sequel.j) 副委員長 角田俊一  
E-mail: [yamanohaiha@yahoo.co.jp](mailto:yamanohaiha@yahoo.co.jp)

卓話依頼期限：2020年6月15日

■ポリオデーについて 亀川榮一 R財団委員長①



今年度もカレラン  
チでポリオ根絶のた  
めの寄付を行います

ニコニコ BOX

本日のニコニコ BOX ¥10,000  
ニコニコ BOX 累計 ¥133,000

■米山奨学生ジャスミンさんへ奨学金の授与



上原会長よりジャスミンさんへ、激励の言葉と共に

■会長報告 上原 義信 会長

\*来週 22 日は宮古島での沖縄分区 IM です。年に一度のロータリアンの研修・懇親会です。クラブより 30 名の参加です。よろしく願い致します。

■理事会報告 (10/8)

① 2010-21 年度ロータリー財団地区補助金申請の件

\*「若者の自立支援施設 待学園沖縄校」に対するパソコン機器の寄贈へ。

②地区クラブ奉仕委員会アンケートの件  
貴クラブのキャッチコピーは？との問いに  
\*「若手が伝統を継承し未来へ繋ぐ、地域のNo.1 元気クラブ」とした。

③例会振替・休会・変更について  
\*10/22 祝日休会を IM へ。12/3 を代休とする。10/29 夜間例会ロワジュールホテルにて。

④IM について  
\*服装はかりゆしまたは背広着用とする。

⑤地区大会全員登録の件  
\*早期登録を行う。全会員¥10,000。請求書を送付し、10月末までに送金を行う。

■九州北部豪雨災害支援金 BOX

10/15 ¥25,200

☆ガバナー補佐とは？

assistant governor [ガバナー補佐]

RI 理事会の方針に従い、地区ガバナーにより任命され、担当する地域内で指定されたクラブ運営に関連する管理業務に関してガバナーを補佐するロータリアンのこと。

■10月は米山月間です。日本と世界各国の架け橋となる米山奨学生をご支援下さい



いつも前向きなジャスミンさん。応援しています

ロータリアンのコミュニティの活動を通して、ロータリアンは私にグローバルな考え方や広い心を教えてくれました。また、いつも私の夢をサポートしてくれます。

私の研究はアマニオイルとエキストラバージンオリーブオイルの摂取による腸内フローラバランスが生活習慣病へどのような影響があるかを生化学的に解明することです。特にエキストラバージンオリーブオイルは腸のバリア機能を保護し、腸の免疫が活性化され、腸内フローラの有益種が増加することがわかってきました。この研究を毎日行うことにとても刺激を持っています。また、私の教授、益崎先生はいつも私にインスピレーションを与えています。

私はこれまでに医学研究の成果を上げてきました。日本で5つの学会で発表し、これらの学会の3つで賞を受賞しました。さらに今年11月には第40回日本肥満学会と薬理学の学会、黒潮カンファレンスで私の研究を発表する予定です。

最近、私は研究論文を雑誌に投稿しました。結果が発表され、European Journal of Nutrition というヨーロッパの栄養学雑誌に掲載が決まりました。このジャーナルは、世界中の栄養科学に関する最新の研究が発表される素晴らしい雑誌です。

次のステップは学位(医学博士)の取得を目指しています。また将来はアカデミックの分野で栄養学専門家として活躍したいと希望しています。



白石武博カウンセラー、いつも優しい心遣いがありありがとうございます。

2019年10月提出：カウンセラーの所見

ジャスミンのカウンセラーとして出会い約半年が過ぎようとしています。私たちは、コミュニケーションを大切にしようということで、毎日ラインにて連絡をとっています。またロータリークラブの例会に加えて、彼女が沖縄で体験したことの無いスポーツや文化イベントに一緒する時間を持つことで、一層の地域社会への理解、相互理解に努めました。

まず彼女はとても真面目な人物です。彼女の明確な目標をもって毎日ひたむきに研究に取り組む、一つ一つ目標をクリアしている姿には感心しきりです。

また彼女は、自らの研究のみならず、在沖の外国人研究者の相互支援コミュニティづくりのためのイベントを定期的に開催したり、学習アドバイザーとしてオーリアへき地医療研修プログラムをサポートするなど、他者や社会貢献活動にも積極的にとりこんでいます。

友人にも恵まれ、私生活も充実しているようです。

7月の例会での発表で、彼女は今年肉親を亡くしたことを話していました。彼女はその悲しみから、自身が医療の世界に貢献することでよりよい社会になるよう努力していきたいと決意を語っていました。

私は、彼女が研究者として大成するとともに、地域社会に貢献し、日本との懸け橋として将来にわたって活躍する人物になると大いに期待しています。